

令和2年度 埼玉県共助社会づくり支援事業

助成事業 北本市の農家と農産物の魅力発信事業

助成団体 特定非営利活動法人 北本市観光協会

事業内容 農家への取材や魅力発信・ワークショップを通じた、農業の活性化とネットワークづくり



成果と展開

農家への取材をまとめ、魅力を発信する広報誌「&greenCALENDAR」の発行。農産物ブランド化を検討するワークショップの開催。

事業の目的(問題意識・課題・対策等)

課題

北本市は都市型農業が盛んな場所であり、若手農家も多数いるが、栽培している野菜は近隣と似たものが多く、農産物のブランド化も中々進まない現状があった。



目的

農業生産額及び農家収入・所得の増加と、ネットワークづくりを通じた、農家の世代交代の促進、新規就農者の増加など、農業活性化。

事業内容

- 1 農産物のPRを目的とした、広報誌「&greenCALENDAR」作成(全5号)WEBやSNSでの掲載・発信
- 2 「きたもとで古来種野菜を探す」ワークショップを開催(全5回)
- 3 北本市や農業青年会議所と連携したネットワーク構築

事業の成果

1 &greenCALENDARの発行



&green CALENDAR
vol.1



&green CALENDAR
vol.2



&green CALENDAR
vol.3



&green CALENDAR
vol.4

発行後に取材農家へ反響のヒアリングを行った。ヒアリング結果としては、各農家共に直売所への来訪者の増加や、実際に冊子を見て訪れた来訪者が多数いたとの意見があった。

事業の成果

2 「きたもとで古来種野菜を探す」ワークショップを開催（全5回）



ワークショップとして、市内の農家へヒアリングを行い、古来種野菜のサーチを行った結果、北本市内の農家2軒で代々種取を行っている、古来種野菜が2種類発見された。（冬瓜、インゲン）

今後に向けて

本年の事業を土台に、来年度以降も下記の事業を継続して取り組んでいきたいと考えています。

- ①農家の取材を通じた魅力発信事業
- ②古来種野菜ワークショップなどのブランド事業
- ③本年発見された古来種野菜の活用事業